

令和 7（2025）年度

名古屋大学大学院工学研究科 博士前期課程学生募集要項

令和 6 年 4 月

名古屋大学大学院工学研究科

本研究科では令和 5 年（2023 年）度に実施する入学試験からインターネット出願を開始しています。

出願前には、マイページ登録が必要です。時間には余裕を持って出願を行ってください。なお、インターネット出願時に登録されたメールアドレスには、大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されますので、変更や削除の可能性がなく、日常的に確認できるメールアドレスを準備してください。

◇専攻案内について

本募集要項への掲載内容の他、系（専攻）単位で入試の出願範囲、入試説明会、事前連絡その他受験に際しての注意事項等を定める場合があります。

出願に先立ち、志望する系（専攻）の専攻案内及び専攻ウェブサイトを必ず確認して下さい。

（専攻案内の入手方法）

<https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/doc/attention2.pdf>

◇工学研究科アドミッション・ポリシー

〈入学者受入れの方針〉

高度な専門力や総合力の修得に必要な基礎学力をもち、最先端の工学を探究・実践する意欲のある人を求めます。

〈選抜の基本方針〉

入学者受入れの方針にしたがって、各専攻において、筆記試験、口頭試問、提出書類等により、語学力を含む基礎学力、専門知識に加え、工学への探究心と意欲の審査を行い、総合的に評価し、選抜します。

◇自然災害等の不測の事態が発生した場合の諸連絡

自然災害等に伴い、試験日程や選抜内容等に変更が生じる場合があります。この場合、次のホームページにより周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

○工学研究科ホームページ

<https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/>

◇安全保障輸出管理の「みなし輸出」の改正に係る手続きについて

2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、学生への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本学への出願者全員に対して「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出を求めることとなりました。

以下の本研究科ホームページに掲載する、「類型該当性の自己申告書」をご確認いただき、該当結果をご記入の上、出願書類とともにご提出下さい。

<https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/>

※日本国籍の方を含めて、出願者全員「類型該当性の自己申告書」の提出が必要になります。

※類型に該当する対象者については、該当性を判断する根拠となるエビデンス資料について

出願書類とあわせてご提出ください。

※一部の学生においては、入学手続き時に「誓約書」の提出が必要となる場合があります。

※出願書類として求められる文章等を生成 AI により作成することは認めません。

目 次

1 出 願 資 格	1
2 募 集 人 員	1
A【筆記試験免除者の選抜】	
A－3 出願登録期間・入学検定料払込期間・願書受付期間	2
A－4 出 願 手 続	2
A－5 出 願 書 類 等	3
A－6 インターネット出願の流れ	7
A－7 入学検定料の払込方法	11
A－8 受験票の印刷について	11
A－9 選抜実施方法及び試験日程	11
A－10 試 験 場	12
A－11 合格者発表	12
A－12 入 学 手 続	12
A－13 授業料等学生納付金	13
A－14 その他注意事項	13
A－15 個人情報の取り扱い	13
A－16 卓越大学院プログラムについて	13
A－17 入学試験に関する照会先	14
B【一般選抜】	
B－3 出願登録期間・入学検定料払込期間・願書受付期間	15
B－4 出願手続	15
B－5 出願書類等	16
B－6 インターネット出願の流れ	18
B－7 入学検定料の払込方法	19
B－8 受験票の印刷について	19
B－9 選抜実施方法及び試験日程	19
B－10 試験場	22
B－11 合格者発表	23
B－12 入学手続	23

B-13	授業料等学生納付金	23
B-14	その他注意事項	23
B-15	個人情報の取り扱い	24
B-16	卓越大学院プログラムについて	24
B-17	入学試験に関する照会先	24
◎	出願資格(9)により出願する者について	26
◎	出願資格(10)により出願する者について	28
◎	令和7(2025)年度名古屋大学大学院工学研究科概要	29

令和 7（2025）年度 名古屋大学大学院 工学研究科博士前期課程学生募集要項

令和7年度本研究科博士前期課程（修士課程として取り扱う課程）に入学させる学生を下記により募集する。

1 出 願 資 格

次の各項目のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び令和7年3月末日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和7年3月末日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月末日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月末日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和7年3月末日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月末日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 令和7年3月末日までに大学に3年以上在学し、本研究科が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（ただし、上記資格(1)該当者及び高等専門学校等からの編入学者は除く）

{

（注） 出願資格(9)により出願するものは、26頁の「出願資格(9)により出願する者について」を参照すること。
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年3月末日までに22歳に達する者

{

（注） 出願資格(10)により出願するものは、28頁の「出願資格(10)により出願する者について」を参照すること。

※高等専門学校専攻科を修了見込みの者は、5月10日（金）までに14頁又は24-25頁の照会先まで問い合わせること。

2 募 集 人 員

系	専 攻	募集人員（名）
化 学 生 命 工 学	有 機 ・ 高 分 子 化 学	34
	応 用 物 質 化 学	34
	生 命 分 子 工 学	28
物 理 工 学	応 用 物 理 学	39
	物 質 科 学	39
マ テ リ ア ル 工 学	材 料 デ ザ イ ン 工 学	34
	物 質 プ ロ セ ス 工 学	35
	化 学 シ ス テ ム 工 学	34

電 気 電 子 情 報 工 学	電 気 工 学	34
	電 子 工 学	47
	情 報 ・ 通 信 工 学	33
機 械 ・ 航 空 宇 宙 工 学	機 械 シ ス テ ム 工 学	66
	マ イ ク ロ ・ ナ ノ 機 械 理 工 学	36
	航 空 宇 宙 工 学	38
エ ネ ル ギ ー 理 工 学	エ ネ ル ギ ー 理 工 学	18
	総 合 エ ネ ル ギ ー 工 学	18
土 木 工 学	土 木 工 学	36

※筆記試験の免除を希望しない者については、15頁からのB【一般選抜】以降に従って出願を行うこと。

A【筆記試験免除者の選抜】

入学者の選抜は、「一般選抜（筆記試験及び口頭試問）」により行う。ただし、各専攻における募集人員の一部について、学業成績優秀者で、志望する専攻での勉学に高い意欲を持つ者の筆記試験を免除する。筆記試験の免除を希望する者は、以下の記載に従って出願を行うこと。

なお、出願資格（9）による者は、事前審査の結果、出願資格有と判定された場合であっても【筆記試験免除者の選抜】には出願することができないため、必ず15頁以降のB【一般選抜】を確認の上、一般選抜で出願を行うこと。

A－3 出願登録期間・入学検定料払込期間・願書受付期間

①インターネット出願登録期間及び入学検定料払込期間

令和6年5月17日（金）から6月5日（水）14時59分まで

②願書受付期間（出願書類を郵送により提出）（消印有効）

令和6年5月31日（金）から6月5日（水）まで

受付期間最終日までの消印を有効とする。なお、海外から出願書類を郵送する場合は6月5日（水）必着とする。

（消印は考慮しない。）

（注1）筆記試験の免除を希望しない者の願書受付期間等はこの限りではないため、15頁のB【一般選抜】を必ず確認すること。なお、【筆記試験免除者の選抜】として出願し、筆記試験が免除されなかった場合も、【一般選抜】として再度出願する必要はないため、重複してインターネット出願登録や検定料の払込を行わないよう十分に注意すること。

（注2）インターネット出願については、7頁「A－6 インターネット出願の流れ」を参照すること。また、入学検定料の払込については、11頁「A－7 入学検定料の払込方法」を参照すること。

A－4 出 願 手 続

出願手続は、入学検定料払込期間内にインターネット出願サイト（7頁参照）で出願登録及び入学検定料の払込を行った後、願書受付期間内に出願書類を郵送により提出することで完了する。

●インターネット出願サイトでは、「日本語」を選択し、出願ページに進むこと。

（「English」のページからは出願登録ができない。）

●検定料の払込期限は、出願登録日を含め4日間（*）であり、払込期限内に入金がない場合は、出願登録は自動的に取り消しとなる。出願登録が取り消しとなったときは再登録すること。

* 検定料の払込締切日までの日数が4日より短い場合は払込締切日（6月5日（水）14時59分）までに払い込むこと。

●詳細は11頁「A－7 入学検定料の払込方法」を参照すること。

- 検定料払込後はインターネット出願登録の内容が出願者のみで変更できなくなるため、検定料払込前に必ず登録内容を確認すること。万が一、検定料払込後に登録内容を変更する必要がある場合には、14頁の照会先に変更方法について問い合わせること。
- 「A-5 出願書類等」①～⑥の書類等を工学研究科教務課入学試験係に郵送で提出すること。
出願書類の持参は認めない。

〔郵送先〕

〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院工学研究科教務課入学試験係

◎注意事項

- (1) 出願書類は、インターネット出願システムから出力される「出願書類送付用封筒貼付用紙」をカラーで印刷し、角型2号の封筒に貼りつけて、工学研究科教務課入学試験係へ郵送すること。詳細については、10頁「STEP 6 (必要書類の印刷と郵送)」を確認すること。
- (2) 出願書類は、簡易書留速達郵便で、郵便局窓口から送付すること。(ポストには投函しないこと。) 海外からの場合は、EMS・DHL等、追跡のできる方法で送付すること。
- (3) 出願書類に不備のある場合は、受け付けないので留意すること。
- (4) 出願手続後は、いかなる事情があっても書類の書き換え及び返却は認めない。
- (5) 出願書類について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがある。
- (6) 「志望系・専攻(志望専攻選択)」, 「筆記試験免除」について、十分に理解して出願すること。
- (7) 出願に際して不明な点は、14頁の照会先まで問い合わせること。

A-5 出 願 書 類 等

インターネット出願以外の所定用紙は、以下の本研究科ホームページからダウンロードし、A4判用紙に片面カラー印刷のうえ記入すること。(https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/graduate/admission.php)

【出願書類記入上の注意】

1. 出願書類は、拡大・縮小は行わずにA4判用紙で白い用紙に印刷すること。
2. 志願票の記入に当たっては、文字は楷書、数字は算用数字、英字は大文字活字体で、正確・明瞭に黒のボールペンで記入すること。消せるボールペンは使用しないこと。
3. 訂正を行う場合は、二本線で取り消し、訂正印(認印)を押した上で、再度余白部分に記入すること。修正液等は使用しないこと。

	出 願 書 類 等	注 意 事 項
①	名古屋大学大学院志願票 及び写真票	[インターネット出願システムから出力されたものを、A4サイズで片面カラー印刷すること。] ※出願前3ヶ月以内に撮影した正面向き、上半身、無帽、背景なしの顔写真データを用意し、インターネット出願サイトからアップロードすること。 出願後に住所が変更になる場合には必ず工学研究科教務課入学試験係まで連絡すること。 志願票及び写真票には第1志望専攻名のみ表示される。 写真票の「研究科指定欄」は空欄のまま提出すること。
②	名古屋大学大学院 工学研究科博士前期 課程入学志願票 (所定用紙)	・本研究科ホームページから所定の用紙をダウンロードし、作成すること。 ・志望系内の専攻全てに順位をつけること。
③	志願票別紙履歴 (所定用紙)	・出願資格(1)及び(2)以外の者は、提出すること。 ・申請者署名欄は自筆で署名すること。

④	学業成績証明書 (原本)	・学部におけるもの。 ・本学工学部（正規課程）に在籍中の者は提出不要。 ・留学生で本学部（本研究科）の研究生は、研究生入学時に証明書原本（紙面に限り、見込証明書は不可）を提出済みの場合は再提出不要。 （注１）証明書は必ず原本を提出すること。コピーやPDF等のデータでの提出は不可。 （注２）高等専門学校専攻科在籍者及び修了者は、本科及び専攻科の成績証明書を提出すること。 （注３）大学に編入学した者は、編入学前の教育機関の成績証明書も提出すること。本学工学部在籍者は提出不要。 （注４）GPA算出方法の記載のある成績証明書を提出すること。出身大学等にGPA算出方法の制度が無い場合は、提出時にその旨、付記すること。なお、出身大学等にGPA算出方法の制度はあるが証明書には記載がない場合にも、同様にその旨を付記するものとする。 （注５）氏名変更等により、証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合は、氏名の変更履歴が記載された戸籍抄本等を併せて提出すること。 （注６）外国の大学を卒業した者は、大学又は公証処等が発行した証明書を提出すること。 （注７）日本語又は英語以外で作成されている場合は、日本語又は英語の訳文を添付すること。（自身で翻訳する場合には、日付を記載し、自筆署名すること。）
⑤	卒業証明書又は 卒業見込証明書 (原本)	・本学工学部（正規課程）に在籍中の者は提出不要。 ・留学生で本学部（本研究科）の研究生は、研究生入学時に証明書原本（紙面に限り、見込証明書は不可）を提出済みの場合は再提出不要。 （注１）証明書は必ず原本を提出すること。コピーやPDF等のデータでの提出は不可。 （注２）高等専門学校専攻科在籍者等の出願資格（２）により出願する者は、学士学位取得証明書又は見込証明書を併せて提出すること。 （注３）本学部・本研究科の休学中の学生は、教務課入学試験係に事前に相談すること。 （注４）氏名変更等により、証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合は、氏名の変更履歴が記載された戸籍抄本等を併せて提出すること。 （注５）外国の大学を卒業した者は、取得学位の記載がある卒業（または見込み）証明書も提出すること。 （注６）外国の大学を卒業した者は、大学又は公証処等が発行した証明書を提出すること。 （注７）日本語又は英語以外で作成されている場合は、日本語又は英語の訳文を添付すること。（自身で翻訳する場合には、日付を記載し、自筆署名すること。）
⑥	学修希望調書 (所定用紙)	本研究科ホームページ掲載の所定用紙（Word）または（PDF）を使用すること。PC入力可。 （注１）「筆記試験免除希望者用」を使用すること。 （注２）筆記試験免除を希望する者として出願し、筆記試験が免除されなかった場合も、「一般選抜試験用」を提出する必要は無い。 （注３）Wordファイルを使用する場合、枠内のスペースに収まるように記入すること。枠のサイズ・書式の変更はしないこと。
⑦	TOEFL又はTOEIC のスコアシート (所定用紙)	<u>本研究科ホームページ掲載の所定用紙「TOEFL/TOEICスコアシート提出用紙」にTOEFL又はTOEICのスコアシートを貼ること。</u>

		(注1) 提出が必要な志願者について 次の3専攻の志願者は、出願時のスコアシートの提出は不要。 ・電気工学専攻 ・電子工学専攻 ・情報・通信工学専攻 上記3専攻以外の志願者は、出願時(5月31日(金)～6月5日(水))に他の出願書類と併せてスコアシートを提出すること。 (注2) 外国語(英語)については、筆記試験を実施せず、TOEFL又はTOEICのスコアで評価する。スコアシートを提出しない場合は、出願は可能であるが、外国語(英語)については評価されない。 (注3) スコアシートはTOEFL, TOEICどちらか一方、又は両方の提出が可能である。 (注4) 提出されたスコアシートの返却には応じられない。また、12頁(A-9(3))の「筆記試験を免除されなかった者」を除き、いかなる理由でも、一度提出した同一種類のスコアシートの差し替えにも応じられない。 (注5) <u>TOEICのスコアシートを提出する場合</u> 提出はTOEIC Listening & Reading Testの原本(Official Score Certificate)に限る。(ただし、「Official Score Certificate」を発行していない国の場合は、「Official Score Report」及び「Certificate of Achievement」の両方を提出することで原本の提出があったものとする。) 「団体特別受験制度(IP:Institutional Program)」のスコアは受け付けない。顔写真の載っていないスコアシートは原則として受け付けない。(ただし、「Official Score Certificate」を発行していない国の場合は、「Official Score Report」に顔写真が載っていない場合でも受け付ける。)一度提出したスコアシートの差し替えや写しの返却には応じられない。 (注6) <u>TOEFLのスコアシートを提出する場合</u> iBT(Internet-based Test)(Home Editionを含む)のスコアを有効とする。団体向けテストプログラムであるITP(Institutional Testing Program)のスコアは受け付けない。スコアシートは、以下の①と②の両方を提出すること。 ①公式スコア「Institutional Score Report」又は「Official Score Report」 ②受験者に届く「Test Taker (Examinee) Score Reportのコピー」 なお、スコアシートを提出する際は、以下の点に留意すること。 1)「Institutional Score Report」又は「Official Score Report」は、最終提出期限までにETSから名古屋大学に届くように所定の手続きをすること。(手続き時に名古屋大学のInstitution Code D377, Department Codeを適切に指定すること。なお、Department Codeは、「69 Engineering, other」と指定すること。)なお、TOEFLの受験後「Institutional Score Report」又は「Official Score Report」が指定送付先に到着するまでに6～8週間程度かかるとされている。到着が遅れる場合もあるので、十分な時間的余裕を持ってTOEFLを受験すること。「Institutional Score Report」又は「Official Score Report」は、期限までに紙の証明書が本学に届いている場合に限り、有効とする。 2)「Institutional Score Report」を提出する場合は、「Test Date Scores」のみを活用する(「MyBest™Scores」は採用しない。) 3)出願書類提出時に「Test Taker (Examinee) Score Report」のコピーを提出すること。
--	--	---

		(注7) 令和4年6月1日以降に実施されたTOEFL/TOEICのスコアのみ有効とする。 なお、TOEICについては、令和6年4月21日(日)実施分までのスコアシートのみ受け付けるが、スコアシートが発送されるまでには1ヶ月程度の期間を要するため、提出日に間に合うよう、受験すること。 (注8) TOEFLのスコアシートを提出する場合は、(注6)の①と②のいずれか一方でも期限に到着しなかったときは、スコアシートの提出はなかったものとして扱う。
⑧	出身大学における各所属学科の卒業要件、進級要件、授業科目一覧、GPA算出方法が確認できる書類の写し	・本学工学部(正規課程)に在籍中の者は提出不要。 ・左記の内容が記載されている書類の写しを提出すること。出身大学等が公的に発行している書類であれば、学生便覧やシラバス等、写し元についてその種別を問わない。また、シラバス等の写しを提出する場合であって、出身大学等において電子データのための公開である場合には、当該電子データを印刷したものを提出すること。 (注1) 高等専門学校専攻科在籍者及び修了者は、専攻科のものを提出すること。 (注2) 大学に編入学した者は、編入学前の教育機関のものも提出すること。
⑨	可否通知用封筒(所定用紙貼付)	長形3号の封筒に、本研究科ホームページに掲載する「可否通知用封筒貼付用紙」を貼付の上、郵便番号・住所(日本国内)、氏名を記入し、514円分(例:210円2枚及び94円1枚)の切手を貼ること。 海外在住のまま受験する場合は、提出不要。
⑩	入学手続通知用封筒(所定用紙貼付)	角型2号の封筒に、本研究科ホームページに掲載する「入学手続通知用封筒貼付用紙」を貼付の上、郵便番号・住所(日本国内)、氏名を記入すること。海外在住のまま受験する場合は、提出不要。
⑪	筆記試験免除書類選考結果通知用封筒(所定用紙貼付)	長形3号の封筒に、本研究科ホームページに掲載する「筆記試験免除書類選考結果通知用封筒貼付用紙」を貼付の上、郵便番号・住所(日本国内)、氏名を記入し、514円分(例:210円2枚及び94円1枚)の切手を貼ること。 海外在住のまま受験する場合は、提出不要。
⑫	筆記試験免除可否通知用封筒(所定用紙貼付)	長形3号の封筒に、本研究科ホームページに掲載する「筆記試験免除可否通知用封筒貼付用紙」を貼付の上、郵便番号・住所(日本国内)、氏名を記入し、514円分(例:210円2枚及び94円1枚)の切手を貼ること。海外在住のまま受験する場合は、提出不要。
⑬	類型該当性の自己申告書(所定用紙)	本研究科ホームページに掲載する所定用紙(「類型該当性の自己申告書」(様式1))に該当結果を記入し、提出すること。 類型①～③のいずれかに該当する場合のみ、別紙フローチャートも併せて提出の上、海外機関の奨学金の受給通知等も提出すること。
⑭	(外国人のみ) 「在留カード」の両面コピー又は「住民票の写し」(原本)	「住民票の写し」の場合は在留資格、在留期間の記載されたもの(発行申請時に申し出が必要)かつマイナンバーの記載がないものとする。海外在住者においては、パスポートのコピー(顔写真のある頁)を提出し、入学手続時に必ず左記のうちいずれかを提出すること。
⑮	国費留学生証明書(原本)	他大学において現在国費留学生である者のみ提出すること。 在学している大学発行のものとする。
⑯	出願書類チェック表(所定用紙)	本研究科ホームページ掲載の所定用紙を使用し、出願者チェック欄に記入の上、提出すること。

A-6 インターネット出願の流れ

(次頁以降)

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

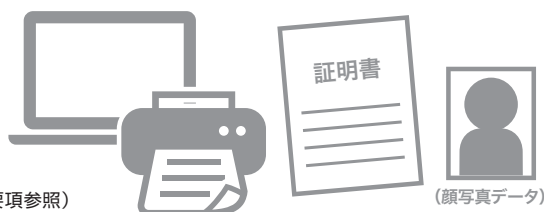
1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…顔写真データ、各種証明書(※詳細は各研究科学生募集要項参照)



STEP

2



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/nagoya-gs/>



STEP

3



マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
出願受付期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

4



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②研究科の選択



③入試区分と留意事項の確認



④出願専攻等の選択



⑤顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑥個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑦出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票、写真票、宛名シート
が確認できます。

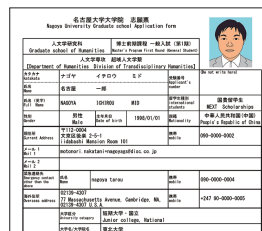


⑧申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



お支払い期限は申込日を含め4日間
です。ただし、Web出願締切がそれよ
りも早く到来する場合、Web出願締切
が期限となります。

⑨入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑩出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエ
ンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



入学検定料支払い後は、登録内容の修正・変更ができませんので、入学検定料支払い前に必ず登録内容を確認し、誤りがあれば、再度登録してください。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

お支払い期限は申込日を含め4日間です。

ただし、Web出願締切がそれよりも早く到来する場合、Web出願締切が期限となります。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニ、FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

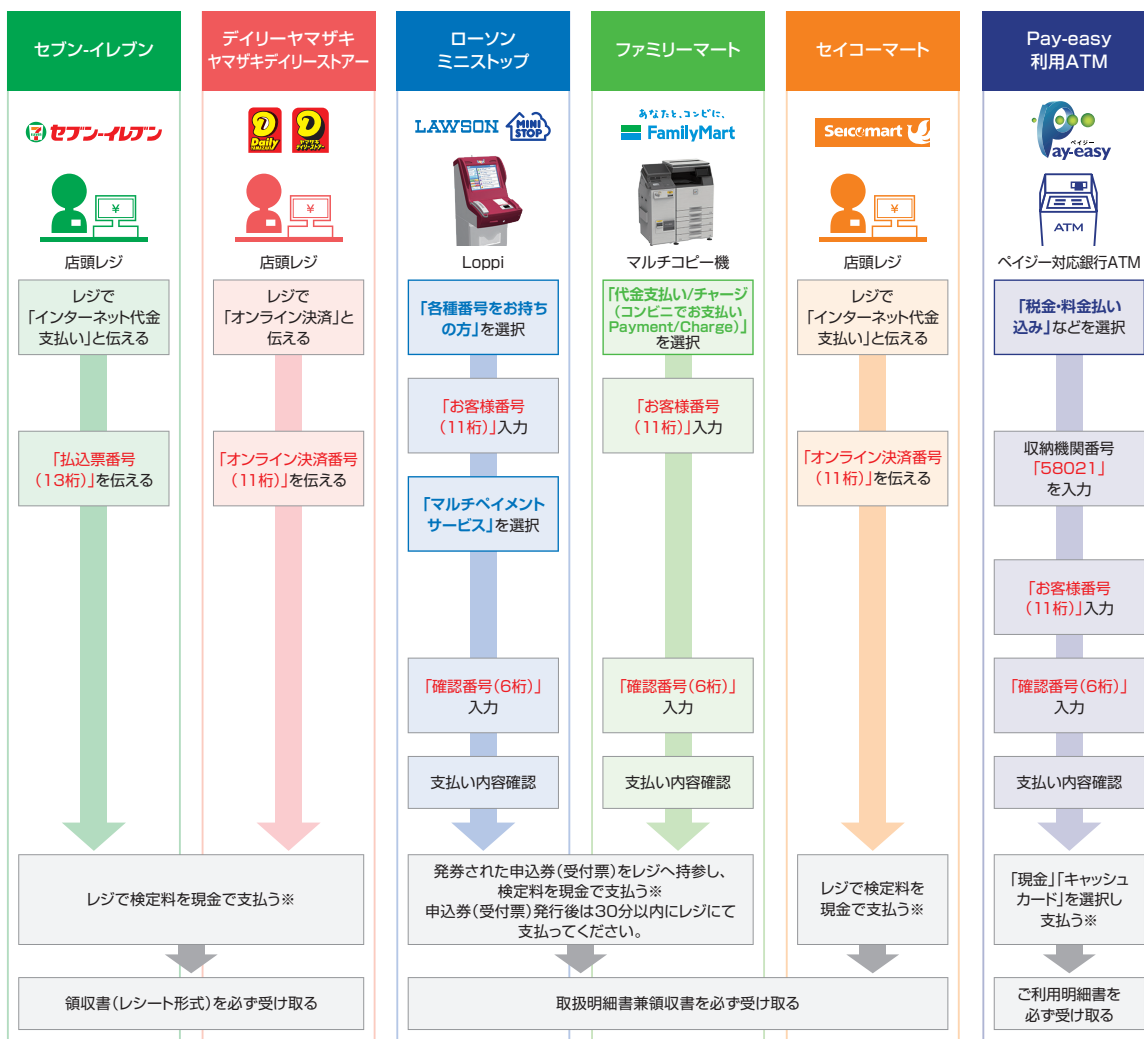
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6



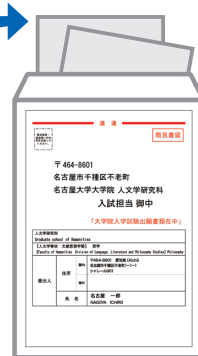
必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留・速達郵便」で郵送してください。

出願に必要な書類

⚠ 募集要項を必ず確認してください

- インターネット出願サイトから印刷する書類
- 本学研究科のホームページからダウンロードし、作成する書類
- 出身大学等に発行を依頼する証明書



出願書類提出用宛名シート
市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)
に貼り付けて作成

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。インターネットでの登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

それぞれの期限は各研究科の学生募集要項を参照してください。

インターネット出願は24時間可能です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7



受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも、試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自で**A4用紙にカラー片面印刷**をして**試験当日に持参**してください。



受験票

氏名: ○○○○
入試: ×××入試

A-7 入学検定料の払込方法

(1) 入学検定料 30,000円

入学検定料のほかに支払手数料(最大で1,300円)が必要となる。手数料の額は、支払手続き画面に表示される。

国費外国人留学生として入学する予定の者は、入学検定料不要のため、インターネット出願サイトの出願時に「検定料の免除について」で「該当する」をチェックすること。

なお、本来入学検定料を支払うべき者が、誤って「検定料の免除について」において、「該当する」を選択し、入学検定料を支払わず出願した場合の書類は受理しないので注意すること。

(2) 払込期間

令和6年5月17日(金)から6月5日(水)14時59分まで

(3) 払込方法

入学検定料の支払いは、9頁「STEP 5 (入学検定料の支払い)」を参照のうえ、行うこと。

海外在住者は、クレジットカードで払い込むこと。

(4) 入学検定料の返還について

出願書類を受理した後は、納入済みの入学検定料は返還しない。ただし、以下に該当する場合は、納入された入学検定料を返還する。なお、返還にかかる振込手数料は志願者負担とする。

ア 入学検定料納入後、出願しなかった場合または出願が受理されなかった場合

イ 入学検定料を二重に払い込んだ場合

※ 入学検定料の返還は銀行振込で行う。海外の銀行の口座に返還する場合には、返還される金額は大きく減額される他、返還に多大な日数を要するので、入学検定料の払込は慎重に行うこと。

※ 返還請求方法については

名古屋大学 受験生応援サイト (<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/>)

→「入試情報を知りたい」→「大学院入試」→「入学検定料の支払い」を確認すること。

A-8 受験票の印刷について

以下の期日までに、受験票印刷についての連絡をインターネット出願時に登録したメールアドレスに通知する。

令和6年6月21日(金)

メールに記載されている注意事項に従い、インターネット出願サイトにログインして受験票をA4用紙にカラーで片面印刷すること。詳細については、10頁「STEP 7 (受験票の印刷)」を確認すること。

なお、試験上の連絡事項がある場合は、出願時に登録したメールアドレスに送付するため、定期的に確認すること。

(注1) インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではない。試験当日は受付番号での受験はできないため必ず受験票を持参すること。

(注2) 試験当日にスマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めない。

(注3) 受験票には第1志望専攻名のみ表示される。

A-9 選抜実施方法及び試験日程

入学者の選抜は、一般選抜試験〔外国語(TOEFL/TOEICのスコア)及び筆記試験(基礎部門・専門部門)・口頭試験〕の成績による総合評価で行う。ただし、募集人員の一部について、学業成績優秀者で、志望する専攻での勉学に高い意欲を持つ者を筆記試験免除とする。

筆記試験免除者を決定するための選抜方法は次のとおりである。

(1) 書類選考

6月中旬に実施をする。結果は本人宛で6月27日（木）に発送する。

(2) 面接試験

書類選考合格者を対象として令和6年7月20日（土）に実施する。結果は本人宛で7月25日（木）に発送する。

※面接試験を受験する者は、受験票を携帯すること。

(3) 書類選考及び面接試験後の流れ

- ・面接試験の結果、筆記試験を免除された者は、一般選抜試験の口頭試問を受けなければならない。口頭試問の詳細については、面接試験の結果通知に同封する。
- ・書類選考または面接試験の結果、筆記試験を免除されなかった者は、19頁のB－9を確認すること。
この場合、出願手続きを再度行う必要はない。
なお、筆記試験を免除されなかった者の TOEIC/TOEFL のスコアシートについては、次のとおりとする。

ア) 電気工学専攻、電子工学専攻、情報・通信工学専攻の志願者

7月31日（水）17時までに TOEIC/TOEFL のスコアシートを工学研究科へ提出すること。

期限までにスコアシートが到着しなかった場合は、スコアシートの提出がなかったものとして扱う。

イ) 上記3専攻以外の出願者

TOEIC/TOEFL スコアシートの再提出を7月31日（水）17時まで認める。

- ・TOEIC については、令和6年5月26日（日）実施分までのスコアシートを受け付ける。TOEFL は、7月5日（金）までに発行済みの「Test Taker (Examinee) Score Report」を受け付けることとし、かつ、7月31日（水）17時までに「Institutional Score Report」または「Official Score Report」が名古屋大学に到着しているものとする。
- ・スコアシートを郵送する際には、各自で封筒を用意し、「スコアシート在中」と朱書きのうえ、郵便局の簡易書留郵便で発送すること。郵送先は、2頁「A－4 出願手続」に記載のある郵送先と同様である。

A－10 試 験 場

名古屋大学大学院工学研究科 名古屋市千種区不老町

（詳細は、追って出願者に通知する。）

A－11 合 格 者 発 表

令和6年9月6日（金）正午（各専攻とも本研究科ホームページに掲示するとともに可否結果を本人宛に発送する）

※合格者には合格通知とあわせて、入学意思届や奨学金関係の案内を郵送するので必ず確認をすること。

特に入学意思届は9月下旬頃に提出が必要となるため留意すること。

A－12 入 学 手 続

入学手続に関する詳細については、令和7年3月上旬に通知する。

令和7年3月中旬までに郵送により行う。

A-13 授業料等学生納付金

- (1) 入学料 282,000円〔予定額〕

入学手続き時に納付すること。

ただし、国費外国人留学生は入学料を要しない。

- (2) 授業料 前期分 267,900円(年額 535,800円)〔予定額〕

授業料は、前期及び後期の2期に分けて納入する。

また、納付については、授業料口座振替(代行納付制度)により取り扱う。

ただし、国費外国人留学生は授業料を要しない。

(注1) 入学手続き完了後は、納付済みの入学料は返還しない。

(注2) 入学時又は在学中に学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな学生納付金額が適用される。

A-14 その他注意事項

- (1) 障害がある者等で、受験上特別な配慮を必要とする者は、令和6年5月10日(金)までに14頁の照会先まで申し出ること。

なお、修学上特別な配慮を必要とする者も受験上特別な配慮と同様のタイミングで申し出ること。

- (2) 出願後に志願票及び返信用封筒に書かれた住所、電話番号、メールアドレスを変更した場合は、速やかに14頁の照会先まで連絡すること。

- (3) 工学研究科及び志望専攻の概要・入試情報等については、本研究科ホームページを参照すること。

URL <https://www.engg.nagoya-u.ac.jp>

(志望専攻の概要) <https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/dept/index.html>

(入試情報) <https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/graduate/admission.php>

なお、志望専攻の「専攻案内」については、各専攻事務室に確認すること。

- (4) すべての筆記試験において、途中退室は認められない。

- (5) 名古屋大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「東海国立大学機構安全保障輸出管理規程」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入に際し厳格な審査を行っている。

2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、**本学への出願者全員**を対象に、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となる。また、入学手続き時に「誓約書」の提出が必要となる場合がある。

規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合があるので、注意すること。なお、詳細については以下の安全保障輸出管理に係るホームページを参照すること。

<https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/securityexport>

A-15 個人情報の取り扱い

住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学選抜、合格発表、入学手続き及びこれらに付随する事項にのみ利用する。また取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には利用しない。

A-16 卓越大学院プログラムについて

卓越大学院プログラムは、文部科学省が2018年に導入した5年一貫の博士課程プログラムである。大学院生が研究と多様な能力の開発に打ち込めるようにするため、特別な経済的支援が用意され、さらに、TA や RA を通して指導能力を学び、追加の収入が得られるような仕組みが用意されている。

工学研究科では、以下のプログラムに参画している。

未来エレクトロニクス創成加速 DII 協働大学院プログラム (DII)

電子工学専攻、電気工学専攻、情報・通信工学専攻、物質科学専攻、応用物理学専攻、物質プロセス工学専攻、材料デザイン工学専攻、化学システム工学専攻、機械システム工学専攻、航空宇宙工学専攻、マイクロ・ナノ機械理工学専攻、エネルギー理工学専攻、総合エネルギー工学専攻は2018年度より本プログラムに参画している。詳細は以下のホームページを参照すること。

<https://www.dii.engg.nagoya-u.ac.jp>

トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム (GTR)

有機・高分子化学専攻、応用物質化学専攻、生命分子工学専攻は2018年度より本プログラムに参画している。詳細は以下のホームページを参照すること。

<http://www.itbm.nagoya-u.ac.jp/gtr/>

ライフスタイル革命のため超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム (TMI)

電気工学専攻、電子工学専攻、情報・通信工学専攻、機械システム工学専攻、マイクロ・ナノ機械理工学専攻、航空宇宙工学専攻、土木工学専攻は、2020年度より本プログラムに参画している。詳細は以下のホームページを参照すること。

<https://www.tmi.mirai.nagoya-u.ac.jp>

A-17 入学試験に関する照会先

(1) 入学試験全般に関する照会先

名古屋大学工学部・工学研究科教務課（東山キャンパス ES 総合館3階）

〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町

電話 052-789-3978 E-mail: eng-admission@t.mail.nagoya-u.ac.jp

※(at)を@に換えること。

名古屋大学の夏季一斉休業期間や業務状況によっては、回答までに時間を要する場合があるので留意すること。

(2) 入学試験過去問及び各専攻の入試情報照会先

https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/doc/past_exam.pdf

専 攻	専 攻 別 入 試 情 報 U R L	メ ー ル ア ド レ ス
有 機 ・ 高 分 子 化 学	http://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/mmc_admit/	admission@chembio.nagoya-u.ac.jp
応 用 物 質 化 学	http://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/mc_admit/	
生 命 分 子 工 学	http://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/be_admit/	
応 用 物 理 学	http://www.ap.pse.nagoya-u.ac.jp/briefing.html	office@ap.pse.nagoya-u.ac.jp
物 質 科 学	http://www.mp.pse.nagoya-u.ac.jp/graduate.html	office@mp.pse.nagoya-u.ac.jp
材 料 デ ザ イ ン 工 学	https://www.material.nagoya-u.ac.jp/bosyuu.html	officemate@material.nagoya-u.ac.jp
物 質 プ ロ セ ス 工 学		
化 学 シ ス テ ム 工 学		
電 気 工 学	http://www.nuee.nagoya-u.ac.jp/g_admission/index.html	jimu@nuee.nagoya-u.ac.jp
電 子 工 学		
情 報 ・ 通 信 工 学		
機 械 シ ス テ ム 工 学	https://www.mae.nagoya-u.ac.jp/ja/admission	mae_jimu@mae.nagoya-u.ac.jp
マイクロ・ナノ機械理工学		
航 空 宇 宙 工 学		
エ ネ ル ギ ー 理 工 学	https://www.energy.nagoya-u.ac.jp/admission	qjuken@energy.nagoya-u.ac.jp
総 合 エ ネ ル ギ ー 工 学		
土 木 工 学	https://www.civil.nagoya-u.ac.jp/admission/examination.html	jimu@civil.nagoya-u.ac.jp

※メールアドレスの(at)は@に換えること。

B【一般選抜】

筆記試験を含む一般選抜試験（筆記試験及び口頭試問）による選抜を希望する者は、以下の記載に従って出願を行うこと。

B－3 出願登録期間・入学検定料払込期間・願書受付期間

①インターネット出願登録期間及び入学検定料払込期間

令和6年6月17日（月）から7月5日（金）14時59分まで

②願書受付期間（出願書類を郵送により提出）（消印有効）

令和6年7月1日（月）から7月5日（金）まで

受付期間最終日までの消印を有効とする。なお、海外から出願書類を郵送する場合は7月5日（金）必着とする。

（消印は考慮しない。）

※インターネット出願については、7頁からを参照すること。また、入学検定料の払込については、19頁の「B－7 入学検定料の払込方法」を参照すること。

B－4 出 願 手 続

出願手続は、入学検定料払込期間内にインターネット出願サイト（7頁参照）で出願登録及び入学検定料の払込を行った後、願書受付期間内に願書書類を郵送により提出することで完了する。

●インターネット出願サイトでは、「日本語」を選択し、出願ページに進むこと。

（「English」のページからは出願登録ができない。）

●検定料の払込期限は出願登録日を含めて4日間(*)であり、払込期限内に入金がない場合は、出願登録は自動的に取り消しとなる。出願登録が取り消しとなったときは再登録すること。

*検定料の払込締切日までの日数が4日より短い場合は払込締切日（7月5日（金）14時59分）までに払込むこと。

●詳細は19頁「B－7 入学検定料の払込方法」を参照すること。

●検定料払込後はインターネット出願登録の内容が出願者のみで変更できなくなるため、検定料払込前に必ず登録内容を確認すること。万が一、検定料払込後に登録内容を変更する必要がある場合には、24頁の照会先に変更方法について問い合わせること。

●「B－5 出願書類等」①～⑬の書類等を工学研究科教務課入学試験係に郵送で提出すること。

出願書類の持参は認めない。

〔郵送先〕

〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院工学研究科教務課入学試験係

◎注意事項

(1) 出願書類は、インターネット出願システムから出力される「出願書類送付用封筒貼付用紙」をカラーで印刷し、角型2号の封筒に貼りつけて、工学研究科教務課入学試験係へ郵送すること。詳細については、10頁「STEP 6 （必要書類の印刷と郵送）」を確認すること。

(2) 出願書類は、簡易書留速達郵便で、郵便局窓口から送付すること。（ポストには投函しないこと。）
海外からの場合は、EMS・DHL等、追跡のできる方法で送付すること。

(3) 出願書類に不備のある場合は、受け付けないので留意すること。

(4) 出願手続後は、いかなる事情があっても書類の書き換え及び返却は認めない。

(5) 出願書類について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学を取り消すことがある。

(6) 「志願系・専攻（志望専攻選択）」について、十分に理解して出願すること。

(7) 入学志願者は、志望する系（以下、志望系）を一つ選択し、同系内の専攻数分の志望順位を系内の全専攻

に付けて出願すること。土木工学系は志望専攻選択が不要である。系と専攻の組合せについては、1頁からの募集人員表を参照すること。

(8) 出願に際して不明な点は、24頁の照会先まで問い合わせること。

B-5 出 願 書 類 等

インターネット出願以外の所定用紙は、以下のホームページからダウンロードし、A4判用紙に片面カラー印刷のうえ記入すること。(https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/graduate/admission.php)

【出願書類記入上の注意】

1. 出願書類は、拡大・縮小は行わずに A4判用紙で白い用紙に印刷すること。
2. 志願票の記入に当たっては、文字は楷書、数字は算用数字、英字は大文字活字体で、正確・明瞭に黒のボールペンで記入すること。消せるボールペンは使用しないこと。
3. 訂正を行う場合は、二本線で取り消し、訂正印（認印）を押した上で、再度余白部分に記入すること。修正液等は使用しないこと。

	出 願 書 類 等	注 意 事 項
①	名古屋大学大学院志願票 及び写真票	[インターネット出願システムから出力されたものを、A4サイズで片面カラー印刷すること。] ※出願前3ヶ月以内に撮影した正面向き、上半身、無帽、背景なしの顔写真データを用意し、インターネット出願サイトからアップロードすること。 出願後に住所が変更になる場合には必ず工学研究科教務課入学試験係まで連絡すること。 志願票及び写真票には第1志望専攻名のみ表示される。 写真票の「研究科指定欄」は空欄のまま提出すること。
②	名古屋大学大学院工学研究科博士前期課程入学志願票 (所定用紙)	・本研究科ホームページから所定の用紙をダウンロードし、作成すること。 ・志望系内の専攻全てに順位をつけること。
③	志願票別紙履歴 (所定用紙)	・出願資格(1)及び(2)以外の者は、提出すること。 ・申請者署名欄は自筆で署名すること。
④	学業成績証明書 (原本)	・学部におけるもの。 ・本学工学部（正規課程）に在籍中の者は提出不要。 ・留学生で本学部（本研究科）の研究生は、研究生入学時に証明書原本（紙面に限り、見込証明書は不可）を提出済み場合は再提出不要。 （注1）証明書は必ず原本を提出すること。コピーやPDF等のデータでの提出は不可。 （注2）高等専門学校専攻科在籍者及び修了者は、本科及び専攻科の成績証明書を提出すること。 （注3）大学に編入学した者は、編入学前の教育機関の成績証明書も提出すること。本学工学部在籍者は提出不要。 （注4）氏名変更等により、証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合は、氏名の変更履歴が記載された戸籍抄本等を併せて提出すること。 （注5）外国の大学を卒業した者は、大学又は公証処等が発行した証明書を提出すること。 （注6）日本語又は英語以外で作成されている場合は、日本語又は英語の訳文を添付すること。（自身で翻訳する場合には、日付を記載し、自筆署名すること。）

⑤	卒業証明書又は 卒業見込証明書 (原本)	・ <u>本学工学部（正規課程）に在籍中の者は提出不要。</u> ・ 留学生で本学部（本研究科）の研究生は，研究生入学時に証明書原本（紙面に限り，見込証明書は不可）を提出済みの場合は再提出不要。 （注１）証明書は必ず原本を提出すること。コピーやPDF等のデータでの提出は不可。 （注２）高等専門学校専攻科在籍者等の出願資格（２）により出願する者は，学士学位取得証明書又は見込証明書を併せて提出すること。 （注３）本学部・本研究科の休学中の学生は，教務課入学試験係に事前に相談すること。 （注４）氏名変更等により，証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合は，氏名の変更履歴が記載された戸籍抄本等を併せて提出すること。 （注５）外国の大学を卒業した者は，取得学位の記載がある卒業（または見込み）証明書も提出すること。 （注６）外国の大学を卒業した者は，大学又は公証処等が発行した証明書を提出すること。 （注７）日本語又は英語以外で作成されている場合は，日本語又は英語の訳文を添付すること。（自身で翻訳する場合には，日付を記載し，自筆署名すること。）
⑥	学修希望調書 (所定用紙)	本研究科ホームページ掲載の所定用紙（Word）または（PDF）を使用すること。PC入力可。 （注１）「一般選抜試験用」を使用すること。 （注２）Wordファイルを使用する場合，枠内のスペースに収まるように記入すること。枠のサイズ・書式の変更はしないこと。
⑦	TOEFL又はTOEIC のスコアシート (所定用紙)	<u>本研究科ホームページ掲載の所定用紙「TOEFL/TOEICスコアシート提出用紙」にTOEFL又はTOEICのスコアシートを貼ること。</u> （注１）外国語（英語）については，筆記試験を実施せず，TOEFL又はTOEICのスコアで評価する。スコアシートを提出しない場合は，出願は可能であるが，外国語（英語）については評価されない。 （注２）スコアシートはTOEFL，TOEICどちらか一方，又は両方の提出が可能である。 （注３）提出されたスコアシートの返却には応じられない。また，12頁（A－9（3））の「筆記試験を免除されなかった者」を除き，いかなる理由でも，一度提出した同一種類のスコアシートの差し替えにも応じられない。 （注４）<u>TOEICのスコアシートを提出する場合</u> 提出はTOEIC Listening & Reading Testの原本（Official Score Certificate）に限る。（ただし，「Official Score Certificate」を発行していない国の場合は，「Official Score Report」及び「Certificate of Achievement」の両方を提出することで原本の提出があったものとする。） 「団体特別受験制度（IP:Institutional Program）」のスコアは受け付けない。顔写真の載っていないスコアシートは原則として受け付けない。（ただし，「Official Score Certificate」を発行していない国の場合は，「Official Score Report」に顔写真が載っていない場合でも受け付ける。）一度提出したスコアシートの差し替えや写しの返却には応じられない。 （注５）<u>TOEFLのスコアシートを提出する場合</u> iBT（Internet-based Test）（Home Editionを含む）のスコアを有効とする。団体向けテストプログラムであるITP（Institutional Testing Program）のスコアは受け付けない。スコアシートは，以下の①と②の両方を提出すること。 ①公式スコア「Institutional Score Report」又は「Official Score

		Report」 ②受験者に届く「Test Taker (Examinee) Score Reportのコピー」 なお、スコアシートを提出する際は、以下の点に留意すること。 1) 「Institutional Score Report」又は「Official Score Report」は、最終提出期限までにETSから名古屋大学に届くように所定の手続きをすること。(手続き時に名古屋大学のInstitution Code D377, Department Codeを適切に指定すること。なお、Department Codeは、「69 Engineering, other」と指定すること。) なお、TOEFLの受験後「Institutional Score Report」又は「Official Score Report」が指定送付先に到着するまでに6～8週間程度かかるとされている。到着が遅れる場合もあるので、十分な時間的余裕を持ってTOEFLを受験すること。「Institutional Score Report」又は「Official Score Report」は、期限までに紙の証明書が本学に届いている場合に限り、有効とする。 2) 「Institutional Score Report」を提出する場合は、「Test Date Scores」のみを活用する(「MyBest™Scores」は採用しない。) 3) 出願書類提出時に「Test Taker (Examinee) Score Report」のコピーを提出すること。 (注6) 令和4年6月1日以降に実施されたTOEFL/TOEICのスコアのみ有効とする。 なお、TOEICについては、令和6年5月26日(日)実施分までのスコアシートのみ受け付けるが、スコアシートが発送されるまでには1ヶ月程度の期間を要するため、提出日に間に合うよう、受験すること。 (注7) TOEFLのスコアシートを提出する場合は、(注5)の①と②のいずれか一方でも期限に到着しなかったときは、スコアシートの提出はなかったものとして扱う。
⑧	可否通知用封筒 (所定用紙貼付)	長形3号の封筒に、本研究科ホームページに掲載する「可否通知用封筒貼付用紙」を貼付の上、郵便番号・住所(日本国内)、氏名を記入し、514円分(例: 210円2枚及び94円1枚)の切手を貼ること。海外在住のまま受験する場合は、提出不要。
⑨	入学手続通知用封筒 (所定用紙貼付)	角型2号の封筒に、本研究科ホームページに掲載する「入学手続通知用封筒貼付用紙」を貼付の上、郵便番号・住所(日本国内)、氏名を記入すること。 海外在住のまま受験する場合は、提出不要。
⑩	類型該当性の自己申告書 (所定用紙)	本研究科ホームページに掲載する所定用紙(「類型該当性の自己申告書」(様式1))に該当結果を記入し、提出すること。 類型①～③のいずれかに該当する場合のみ、別紙フローチャートも併せて提出の上、海外機関の奨学金の受給通知等も提出すること。
⑪	(外国人のみ) 「在留カード」の両面コピー又は「住民票の写し」(原本)	「住民票の写し」の場合は在留資格、在留期間の記載されたもの(発行申請時に申し出が必要)かつマイナンバーの記載がないものとする。海外在住者においては、パスポートのコピー(顔写真のある頁)を提出し、入学手続時に必ず左記のうちいずれかを提出すること。
⑫	国費留学生証明書 (原本)	他大学において現在国費留学生である者のみ提出すること。 在学している大学発行のものとする。
⑬	出願書類チェック表 (所定用紙)	本研究科ホームページ掲載の所定用紙を使用し、出願者チェック欄に記入の上、提出すること。

B-6 インターネット出願の流れ

本募集要項の7から10頁までを参照すること。

B－7 入学検定料の払込方法

(1) 入学検定料 30,000円

入学検定料のほかに支払手数料（最大で1,300円）が必要となる。手数料の額は、支払手続き画面に表示される。

国費外国人留学生として入学する予定の者は、入学検定料不要のため、インターネット出願サイトの出願時に「検定料の免除について」で「該当する」をチェックすること。

なお、本来入学検定料を支払うべき者が、誤って「検定料の免除について」において、「該当する」を選択し、入学検定料を支払わずに出願した場合の書類は受理しないので注意すること。

(2) 払込期間

令和6年6月17日（月）から7月5日（金）14時59分まで

(3) 払込方法

入学検定料の支払いは、9頁「STEP 5（入学検定料の支払い）」を参照のうえ、行うこと。

海外在住者はクレジットカードで払い込むこと。

(4) 入学検定料の返還について

出願書類を受理した後は、納入済みの入学検定料は返還しない。ただし、以下に該当する場合は、納入された入学検定料を返還する。なお、返還にかかる振込手数料は志願者負担とする。

ア 入学検定料納入後、出願しなかった場合または出願が受理されなかった場合

イ 入学検定料を二重に払い込んだ場合

※ 入学検定料の返還は銀行振込で行う。海外の銀行の口座に返還する場合には、返還される金額は大きく減額される他、返還に多大な日数を要するので、入学検定料の払込は慎重に行うこと。

※ 返還請求方法については

名古屋大学 受験生応援サイト (<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/>)

→「入試情報を知りたい」→「大学院入試」→「入学検定料の支払い」を確認すること。

B－8 受験票の印刷について

次の期日までに、受験票印刷についての連絡をインターネット出願時に登録したメールアドレスに通知する。

令和6年7月31日（水）

メールに記載されている注意事項に従い、インターネット出願システムにログインして受験票をA4用紙にカラーで片面印刷すること。詳細については、10頁「STEP 7（受験票の印刷）」を確認すること。

なお、試験上の連絡事項がある場合は、出願時に登録したメールアドレスに送付するため、定期的に確認すること。

（注1）インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではない。試験当日は受付番号での受験はできないため必ず受験票を持参すること。

（注2）試験当日にスマートフォン等で画面表示による受験票の提示は認めない。

（注3）受験票には第1志望専攻名のみ表示される。

B－9 選抜実施方法及び試験日程

入学者の選抜は、一般選抜試験〔外国語（TOEIC/TOEFLのスコア）及び筆記試験（基礎部門・専門部門）・口頭試験〕の成績による総合評価で行う。

① 出願にあたっての留意事項

志望専攻選択について

博士前期課程学生選抜では、分野の近い1～3専攻を「系」と呼び、試験実施単位とする。

使用言語について

筆記試験、口頭試問ともに使用言語は日本語とし、英語による出題対応は行わない。

② 一般選抜試験（筆記試験・口頭試問）日程

A 筆記試験 令和6年8月20日（火）～8月21日（水）

1）8月20日（火）13時30分から16時30分※ 基礎部門

※ただし、化学生命工学系の3専攻については、13時30分から15時30分

系	専 攻	試 験 科 目
化 学 生 命 工 学	有 機 ・ 高 分 子 化 学	基礎物理化学，基礎有機化学，基礎無機化学，基礎生化学の4科目から3科目を選択して解答する。 出題範囲の詳細は，本専攻のHPに記載する。
	応 用 物 質 化 学	
	生 命 分 子 工 学	
物 理 工 学	応 用 物 理 学	・数学（線形代数，常微分方程式，微分・積分，初等ベクトル解析） ・力学（質点系の力学，微小振動，剛体の運動） ・電磁気学（静電気学，定常電流，電流と磁界，静磁場，電磁誘導）
	物 質 科 学	
マ テ リ ア ル 工 学	材 料 デ ザ イ ン 工 学	下記2科目全科目を解答する。なお，出題範囲は括弧内とする。 1）数学（微分・積分，常微分方程式，線形代数，ベクトル解析） 2）物理化学《熱力学の基本法則と熱力学諸量，相平衡（状態図を含む），化学平衡（酸化還元を含む）》
	物 質 プ ロ セ ス 工 学	
	化 学 シ ス テ ム 工 学	
電 気 電 子 情 報 工 学	電 気 工 学	下記の2科目から数学3問，電磁気学2問を出題する。計5問から3問を選択して解答する。出題範囲は（ ）内とする。出題範囲の詳細については専攻案内を参照すること。 ー数学（微積分，線形代数，微分方程式） ー電磁気学（静電界，電流と磁界，電磁誘導と電磁波）
	電 子 工 学	
	情 報 ・ 通 信 工 学	
機 械 ・ 航 空 宇 宙 工 学	機 械 シ ス テ ム 工 学	数学（線形代数，常微分方程式，微分・積分，初等ベクトル解析から出題，全問解答），物理学（力学1問を解答） （詳細を「受験に際しての注意事項」で確認すること）
	マ イ ク ロ ・ ナ ノ 機 械 理 工 学	
	航 空 宇 宙 工 学	
エ ネ ル ギ ー 理 工 学	エ ネ ル ギ ー 理 工 学	下記3科目から5問出題し，5問全てに解答する。 ー数学（微分積分，線形代数学，ベクトル解析，微分方程式）2問

	総合エネルギー工学	ー物理（質点系の力学，剛体の運動，静電界と静磁界，電流と磁界，電磁誘導）2問 ー化学《無機化学の基礎（原子・分子・固体の構造），量子化学の基礎（分子・固体の化学結合），熱力学の基礎，化学平衡，反応速度論》1問
土木工学	土木工学	応用数学，小論文（詳細は専攻案内を参照すること）

2) 8月21日（水）9時から12時※ 専門部門

※ただし，化学生命工学系の3専攻については，9時から11時

マテリアル工学系の3専攻については，9時から10時30分

系	専攻	試験科目
化学生命工学	有機・高分子化学	物理化学，有機化学，無機化学，生化学の4科目から各2問出題される。 この合計8問から4問を選択して解答する。 出題範囲の詳細は，本専攻HPに記載する。
	応用物質化学	
	生命分子工学	
物理工学	応用物理学	下記の4科目より各科目1問，全4問出題し，うち2問を選択，解答する。 1) 量子力学（波動方程式，固有値問題，角運動量，原子，摂動論および変分法） 2) 熱・統計力学（気体分子運動論，熱と仕事，熱力学関数，分配関数，ボルツマン統計，フェルミ統計とボーズ統計，相互作用する系） 3) 物性物理学（結晶構造，回折現象，格子振動，自由電子模型，周期場の電子，電気伝導，半導体の性質） 4) 応用数学（フーリエ解析，ラプラス変換，複素関数論，偏微分方程式）
	物質科学	
マテリアル工学	材料デザイン工学	下記の4分野より，各1問を出題する。受験生は，4問中の2問を解答すること。 1) 固体物理学（結晶構造，X線回折，シュレーディンガー方程式，フォノン，比熱・熱伝導，電子構造と物性） 2) 流動と伝熱《レオロジー，流動の基礎方程式，管内流動（層流と乱流，流速および流量の計測，圧力損失と流体輸送），伝熱（伝導，対流，熱放射），総括熱伝達，熱交換》 3) 反応工学《化学反応速度論，各種反応器（回分型，連続槽型と管型），物質移動が関与する不均一相系反応，固体触媒反応》 4) 材料の力学《材料力学（組合わせ応力，はりの曲げ），材料強度学（応力とひずみ，転位とすべり変形，金属の強化機構）》
	物質プロセス工学	
	化学システム工学	
電気電子情報工学	電気工学	下記の2グループ，計6科目から，各1問を出題する。 計6問から3問を選択して解答する。 ただし，グループ1からの選択数は2問以下とする。 ・グループ1：電気回路，電子回路，論理回路 ・グループ2：電気エネルギー，電子物性，情報理論 出題範囲の詳細については，専攻案内を参照すること。
	電子工学	
	情報・通信工学	

機 械 ・ 航 空 宇 宙 工 学	機 械 シ ス テ ム 工 学	下記 5 科目から 3 科目選択して解答する。 熱工学，流体力学，機械力学，制御工学，材料力学 【熱工学】熱平衡，理想気体と実在気体，熱力学第 1 法則，熱力学第 2 法則，熱サイクル，熱力学関数，相平衡と化学平衡，伝導伝熱，対流熱伝達 【流体力学】静水力学，質量保存則，運動量保存則，ベルヌーイの式，内部流れと損失，ナビエ-ストークス方程式とその層流解，境界層，揚力・抗力，次元解析と相似則 【機械力学】自由振動と強制振動，1 自由度系の振動，固有角振動数，多自由度系の振動，モードベクトル，動吸振器，モード解析，ラグランジュ方程式 【制御工学】伝達関数および状態空間表現に基づく制御系の解析と設計 【材料力学】応力とひずみ，引張と圧縮，熱応力，トラス，組合せ応力，主応力，はりの曲げ，棒のねじり，柱の座屈，ひずみエネルギー
	マイクロ・ナノ機械理工学	
	航 空 宇 宙 工 学	
エ ネ ル ギ ー 理 工 学	エ ネ ル ギ ー 理 工 学	下記，(1) と (2) を解答すること。ただし，(1) は必答であり，(2) は「材料科学」2 問，「原子核工学」2 問，「機械工学」1 問，「電気工学」1 問の合計 6 問から 2 問を選択する。 (1) エネルギーに関する総合問題（小論文を含む） (2) 「材料科学」（物性物理学，統計力学，量子力学） 「原子核工学」（保健物理，放射線計測，原子核物理，原子炉物理，原子力燃料サイクル） 「機械工学」（材料力学，流体力学，熱工学） 「電気工学」（電気回路，電磁気学） なお，「材料科学」，「原子核工学」，「機械工学」，「電気工学」の出題範囲の詳細については，専攻案内を参照すること。
	総 合 エ ネ ル ギ ー 工 学	
土 木 工 学	土 木 工 学	専門部門 A（土木系）と専門部門 B（土木系以外）とに分けて試験を実施する。（詳細は専攻案内を参照すること）

(注) 1. 試験の解答は黒色鉛筆又はシャープペンシルに限る。

2. 計算機類等及び辞書類は，専攻の指示（試験科目欄参照）がある場合以外は使用できない。

B 口頭試問 令和6年8月22日（木）～8月23日（金）

詳細な時間，実施方法等は，各専攻からの専攻案内（又は，受験に際しての注意事項）で別途指示する。

B-10 試 験 場

名古屋大学大学院工学研究科 名古屋市千種区不老町
（詳細は，追って出願者に通知する。）

B-11 合格者発表

令和6年9月6日（金）正午（各専攻とも本研究科ホームページに掲載するとともに合否結果を本人宛に発送する）
※合格者には合格通知とあわせて、入学意思届や奨学金関係の案内を郵送するので必ず確認をすること。
特に入学意思届は9月下旬頃に提出が必要となるため留意すること。

B-12 入学手続

入学手続に関する詳細については、令和7年3月上旬に通知する。
令和7年3月中旬までに郵送により行う。

B-13 授業料等学生納付金

- （1）入学料 282,000円〔予定額〕
入学手続時に納付すること。
ただし、国費外国人留学生は入学料を要しない。
- （2）授業料 前期分 267,900円（年額 535,800円）〔予定額〕
授業料は、前期及び後期の2期に分けて納入する。
また、納付については、授業料口座振替（代行納付制度）により取り扱う。
ただし、国費外国人留学生は授業料を要しない。

（注1）入学手続き完了後は、納付済みの入学料は返還しない。
（注2）入学時又は在学中に学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな学生納付金額が適用される。

B-14 その他注意事項

- （1）障害がある者等で、受験上特別な配慮を必要とする者は、令和6年6月21日（金）までに24頁の照会先まで申し出ること。
なお、修学上特別な配慮を必要とする者も受験上特別な配慮と同様のタイミングで申し出ること。
- （2）出願後に志願票及び返信用封筒に書かれた住所、電話番号、メールアドレスを変更した場合は、速やかに24頁の照会先まで連絡すること。
- （3）工学研究科及び志望専攻の概要・入試情報等については、本研究科ホームページを参照すること。
URL <https://www.engg.nagoya-u.ac.jp>
（志望専攻の概要） <https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/dept/index.html>
（入試情報） <https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/graduate/admission.php>
なお、志望専攻の「専攻案内」については、各専攻事務室に確認すること。
- （4）すべての筆記試験において、途中退室は認められない。
- （5）名古屋大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「東海国立大学機構安全保障輸出管理規程」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を行っている。
2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、**本学への出願者全員**を対象に、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となる。また、入学手続き時に「誓約書」の提出が必要となる場合がある。
規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合があるので、注意すること。なお、詳細については以下の安全保障輸出管理に係るホームページを参照すること。

<https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/securityexport>

B-15 個人情報の取り扱い

住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項にのみ利用する。また取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には利用しない。

B-16 卓越大学院プログラムについて

卓越大学院プログラムは、文部科学省が2018年に導入した5年一貫の博士課程プログラムである。大学院生が研究と多様な能力の開発に打ち込めるようにするため、特別な経済的支援が用意され、さらに、TA や RA を通して指導能力を学び、追加の収入が得られるような仕組みが用意されている。

工学研究科では、以下のプログラムに参画している。

未来エレクトロニクス創成加速 DII 協働大学院プログラム (DII)

電子工学専攻、電気工学専攻、情報・通信工学専攻、物質科学専攻、応用物理学専攻、物質プロセス工学専攻、材料デザイン工学専攻、化学システム工学専攻、機械システム工学専攻、航空宇宙工学専攻、マイクロ・ナノ機械理工学専攻、エネルギー理工学専攻、総合エネルギー工学専攻は2018年度より本プログラムに参画している。詳細は以下のホームページを参照すること。

<https://www.dii.engg.nagoya-u.ac.jp/>

トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム (GTR)

有機・高分子化学専攻、応用物質化学専攻、生命分子工学専攻は2018年度より本プログラムに参画している。詳細は以下のホームページを参照すること。

<http://www.itbm.nagoya-u.ac.jp/gtr/>

ライフスタイル革命のため超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム (TMI)

電気工学専攻、電子工学専攻、情報・通信工学専攻、機械システム工学専攻、マイクロ・ナノ機械理工学専攻、航空宇宙工学専攻、土木工学専攻は、2020年度より本プログラムに参画している。詳細は以下のホームページを参照すること。

<https://www.tmi.mirai.nagoya-u.ac.jp>

B-17 入学試験に関する照会先

(1) 入学試験全般に関する照会先

名古屋大学工学部・工学研究科教務課入学試験係（東山キャンパス ES 総合館3階）

〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町

電話 052-789-3978 E-mail: eng-admission(at)t.mail.nagoya-u.ac.jp

※(at)を@に換えること。

名古屋大学の夏季一斉休業期間や業務状況によっては、回答までに時間を要する場合がありますので留意すること。

(2) 入学試験過去問及び各専攻の入試情報照会先

https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/doc/past_exam.pdf

専 攻	専 攻 別 入 試 情 報 U R L	メー ル ア ド レ ス
有 機 ・ 高 分 子 化 学	http://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/mmc_admit/	admission(at)chembio.nagoya-u.ac.jp
応 用 物 質 化 学	http://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/mc_admit/	
生 命 分 子 工 学	http://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/be_admit/	
応 用 物 理 学	http://www.ap.pse.nagoya-u.ac.jp/briefing.html	office(at)ap.pse.nagoya-u.ac.jp
物 質 科 学	http://www.mp.pse.nagoya-u.ac.jp/graduate.html	office(at)mp.pse.nagoya-u.ac.jp

材 料 デ ザ イ ン 工 学	https://www.material.nagoya-u.ac.jp/bosyuu.html	officemate(at)material.nagoya-u.ac.jp
物 質 プ ロ セ ス 工 学		
化 学 シ ス テ ム 工 学		
電 気 工 学	http://www.nuee.nagoya-u.ac.jp/g_admission/index.html	jimu(at)nuee.nagoya-u.ac.jp
電 子 工 学		
情 報 ・ 通 信 工 学		
機 械 シ ス テ ム 工 学	https://www.mae.nagoya-u.ac.jp/ja/admission	mae_jimu(at)mae.nagoya-u.ac.jp
マイクロ・ナノ機械理工学		
航 空 宇 宙 工 学		
エ ネ ル ギ ー 理 工 学	https://www.energy.nagoya-u.ac.jp/admission	qjuken(at)energy.nagoya-u.ac.jp
総 合 エ ネ ル ギ ー 工 学		
土 木 工 学	https://www.civil.nagoya-u.ac.jp/admission/examination.html	jimu(at)civil.nagoya-u.ac.jp

※メールアドレスの(at)は@に換えること。

出願資格(9)により出願する者について

1) 出願資格(9)により出願する者は、

次の要件を満たす者であること。

令和7年3月末日までに大学に3年以上在学し、本学大学院が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。

2) 募集人員 若干名

3) 事前照会(審査)

出願資格(9)により出願する者については、あらかじめ次の書類を令和6年5月20日(月)16時必着で、工学部・工学研究科教務課入学試験係〔24頁の「B-17 照会先」を参照〕へ郵送(簡易書留速達郵便で封筒の表に「出願資格(9)事前審査申請」と朱書)し、出願資格の有無について事前照会すること。

- (1) 出願資格(9)による出願資格事前審査願(本研究科ホームページ掲載の様式)
- (2) 在学証明書(原本)
- (3) 学業成績証明書(原本)(在籍大学において、学部2年後期までのもの)
- (4) 推薦書(本研究科ホームページ掲載の様式に、在籍大学において学科主任、指導教員等が記載し厳封したもの)
- (5) 在籍大学学部・学科の履修要覧(要項)等(写し可)(本学部在籍者は提出不要)

本研究科で事前審査を実施し、その結果は本人宛に令和6年5月29日(水)に発送する。

4) 出願書類等

上記事前審査の結果、出願資格有と判定された者の願書受付期間及び出願書類等は、15頁B-3及び16頁B-5を参照すること。

- (注) 1. 筆記試験免除者の選抜には出願できないため、必ず一般選抜に出願すること。
(注) 2. 出願書類のうち、すでに事前審査で提出している学業成績証明書は不要である。
(注) 3. 出願は、第1志望専攻のみ認められる。

5) 選考方法

一般選抜試験〔外国語(TOEFL/TOEICのスコア)及び筆記試験(基礎部門・専門部門)・口頭試問〕の総合審査によって行う。

第1次選考

19頁～22頁の「B-9 選抜実施方法及び試験日程」に基づき受験すること。

第2次選考

第1次選考合格者について、学部3年次までの成績等によって選考するので、令和7年1月22日(水)までに、以下の書類を工学部・工学研究科教務課入学試験係へ提出すること。

- ① 学部3年前期までの学業成績証明書(原本)(本学工学部在籍者は不要)
- ② 学部3年後期分履修申告確認票(写)等(本学工学部在籍者は不要)(履修申告した授業科目等を記載したものの写)

6) 合格者発表

第1次選考合格者

令和6年9月6日(金)正午

(本研究科ホームページに掲載するとともに合否結果を本人宛に発送する)

合格者には合格通知とあわせて第2次選考の受験意思確認書類を送付するため、必ず受け取ること。

第2次選考合格者

令和7年3月上旬

(本研究科ホームページに掲示するとともに合否結果を本人宛に発送する)

7) 入学手続

入学手続についての詳細は、合否結果通知時に併せて通知する。

手続日は、令和7年3月中旬までに郵送により行う。

8) その他注意事項

① 合格者は、令和7年3月中旬までに、学部3年終了時までの学業成績証明書（原本）を工学研究科教務課へ必ず提出すること。

② 本受験資格により入学する者は、在籍大学を退学することになるため、種々の国家試験等の受験資格で大学の学部の卒業を要件としているものについては、受験資格がなくなるので、注意すること。

出願資格(10)により出願する者について

1) 出願資格(10)により出願する者は、

本研究科において、大学卒業と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年3月末日までに22歳に達する者であること。

2) 個別審査

出願資格(10)により出願する者については、あらかじめ次の書類を令和6年5月20日(月)16時必着で、工学部・工学研究科教務課入学試験係〔24頁の「B-17 照会先」を参照〕へ郵送(簡易書留速達郵便で封筒の表に「出願資格(10)個別審査申請」と朱書)し、出願資格の有無についての個別審査を願い出ること。

本研究科で個別審査を実施し、その結果は本人宛に令和6年5月29日(水)に発送する。

(1) 出願資格(10)による出願資格個別審査願(本研究科ホームページ掲載の様式に、本人が記載)

(2) 履歴書(本研究科ホームページ掲載の様式に、本人が記載)

(3) 大学を卒業した者と同等以上の学力があることを示す資料

(a) 履歴に短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等の学歴を有する者

これらについての卒業又は修了証明書(原本)〔今年度中に卒業又は修了する見込の者については、その証明書(原本)〕、学業成績証明書(原本)及びシラバス(授業要目)

(b) 履歴に技術的・専門的職業についての職歴を有する者

その期間及び職務内容を明記した在職証明書(原本)

(c) 履歴に研究歴を有する者

研究歴証明書(本研究科ホームページ掲載の様式に、所属の長等が証明したもの)、研究実績調書(本研究科ホームページ掲載の様式に、本人が記載)及び、研究成果報告書(本研究科ホームページ掲載の様式に、本人が4,000字程度で作成、論文形式とする)

(d) 業績として学術論文、著書、研究発表、特許、作品等を有する者

その写し

(4) その他、審査の参考となる資料(自薦、他薦による推薦書など)

3) 選考方法(一般選抜の場合)

(1) 一般選抜試験〔外国語(TOEFL/TOEICのスコア)及び筆記試験(基礎部門・専門部門)・口頭試問〕の総合審査によって行う。

(2) 19頁～22頁の「B-9 選抜実施方法及び試験日程」に基づき受験すること。

4) 出願書類等

上記個別審査の結果、出願資格有と判定された者の願書受付期間及び出願書類等は、【筆記試験免除者の選抜】に出願する場合は2頁A-3及び3頁A-5、【一般選抜】に出願する場合は15頁B-3及び16頁B-5参照すること。

【筆記試験免除者の選抜】又は【一般選抜】のどちらにも出願は可能であるが、この2つは出願期間及び選考方法が異なるため、注意すること。

令和7（2025）年度 名古屋大学大学院工学研究科概要

大学院は学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて文化の進展に寄与するとともに学術の研究者、高度の専門技術者及び教授者を養成することを目的とする。本研究科には博士前期課程及び博士後期課程をおき、その修業年限は、博士前期課程は2年、博士後期課程は3年を標準とする。博士前期課程では学識及び研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養い、博士後期課程では研究者として、自立して研究活動を行うに必要な高度の能力及び豊かな学識を養うものである。

本研究科、各専攻の主な内容は次のとおりである。

専攻名	内 容	
有機・高分子化学専攻	有機構造化学, 有機反応化学, 触媒有機合成学, 高分子物性学, 機能高分子化学, 高分子組織化学, 超分子・高分子化学	
応用物質化学専攻	触媒設計学, 材料設計化学, エネルギー変換化学, 構造機能化学, 機能材料化学, 機能物質工学, 多孔材料化学, 超分子設計学	
生命分子工学専攻	ナノバイオ計測化学, 生体分子応用化学, 生命超分子化学, 化学遺伝学, 生物化学工学, 分子生命環境プロセス	
応用物理学専攻	物性基礎工学, 量子物性工学, 光物理工学, 数理工学, 構造物性工学, 磁性材料工学, 電子線ナノ物理工学, 生体分子物理工学, ナノ物性工学	
物質科学専攻	高圧力物質科学, 電子機能材料, ナノ電子デバイス工学, 量子スピン物性工学, 量子ビーム物性工学, 材料設計工学, レオロジー物理工学, ナノ顕微分光物質科学, フロンティア計算物質科学, 放射光応用物質科学, 量子物性計算科学 ^b	※
材料デザイン工学専攻	計算組織学 ^{a,b} , 計算材料物性学, 構造形態制御工学, ナノ構造制御学, シンクロトロン光応用工学, ナノイオニクス設計工学, 材料加工工学	※
物質プロセス工学専攻	プロセス情報工学, 化学物性応用工学 ^a , 移動現象制御工学, 結晶成長情報工学 ^b , 材料複合プロセス工学 ^a , エネルギー・環境材料創成工学 ^a , エネルギー変換・触媒材料創成工学, ナノスピン・磁性材料創成工学	※
化学システム工学専攻	循環システム工学, 分離融合システム工学, 化学エネルギーシステム工学, 化学反応システム工学, 有機光電材料化学, 界面システム工学, 材料電気化学, 界面・反応動力学, 機能性マテリアル創成工学	
電気工学専攻	電気エネルギー貯蔵工学, エネルギー制御工学, 電力機器・エネルギー伝送工学, エネルギーシステム工学, パワーエレクトロニクス, プラズマエネルギー工学, 機能性・エネルギー材料工学, 核融合電磁物性工学, 宇宙電磁観測, 宇宙情報処理	
電子工学専攻	プラズマエレクトロニクス, プラズマナノプロセス科学, 先端プロセス, 知能デバイス, 機能集積デバイス, 先端デバイス, 量子光エレクトロニクス, 量子集積デバイスシステム, 光エレクトロニクス, ナノ情報デバイス ^b , ナノスピンドバイス, ナノ電子物性, ナノ電子デバイス ^b , ナノバイオセンシング	※
情報・通信工学専攻	画像情報学, 情報ネットワーク, 先端情報環境, 無線通信システム, コンピュータ・アーキテクチャ, インテリジェントシステム, コンピュータ・インテリジェンス, 制御システム, 通信理論	
機械システム工学専攻	熱制御工学, 環境・エネルギー工学, 統計流体力学, 固体力学, バイオメカニクス, 計算力学, 機械力学, 自動車安全工学, 支援ロボティクス, 動的システム制御, 生体システム制御, モビリティシステム	
マイクロ・ナノ機械理工学専攻	マイクロ・ナノプロセス工学, 生産プロセス工学, 材料強度・評価学, センシング工学, マイクロ熱流体力学, バイオロボティクス, 知能ロボット学	

航 空 宇 宙 工 学 専 攻	流体力学，衝撃波・宇宙推進，推進エネルギーシステム工学，構造力学，生産工学，制御システム工学，航空宇宙機運動システム工学，先進複合材料，工作機械工学
エ ネ ル ギ ー 理 工 学 専 攻	エネルギー機能材料工学，表面界面制御工学，ナノマテリアル科学，環境機能材料工学，ナノプロセス，応用核物理学，核データ計測，エネルギー熱流体工学，核融合炉心プラズマ工学，電磁流体工学，大規模シミュレーション
総 合 エ ネ ル ギ ー 工 学 専 攻	核融合プラズマ理工学，核融合炉工学，プラズマ計測，原子力安全工学，原子炉物理学，中性子医療応用，マイクロエネルギー応用工学，同位体科学，エネルギー資源循環，エネルギー廃棄物管理工学，放射線計測，放射性核種分析
土 木 工 学 専 攻	構造工学，材料・形態学，海岸・海洋工学，流域保全学，地盤工学，国土防災安全工学，地圏環境保全学，社会基盤計画学，社会基盤設計学，社会基盤維持管理学，国際環境協力学，国土デザイン学

※a：産総研連携大学院講座を含む，b：NIMS 連携大学院講座を含む

本研究科博士前期課程において，基礎科目，専門科目，総合工学科目等で，所定の学科目で30単位以上を修得し，かつ学位論文の作成等に対する指導を受けたうえ論文を提出して学位試験に合格した者には，修士（工学）の学位を与える。

博士前期課程又は修士課程を経たうえ，さらに選考により博士後期課程に進学又は入学することができる。博士後期課程において，専門科目につき所定の単位を修得し，かつ，学位論文の作成等に対する指導を受けたうえ論文を提出し学位試験に合格した者には，博士（工学）の学位を与える。

工学部・工学研究科キャンパスマップ



「名古屋駅」方面から

地下鉄東山線「本山」駅下車

名城線右回り乗り換え「名古屋大学」駅下車 所要時間：約25分

「金山」方面から

地下鉄名城線左回り「名古屋大学」駅下車 所要時間：約24分

中部国際空港「セントレア」方面から

名鉄空港線「中部国際空港」駅より名鉄本線「金山」駅下車

地下鉄名城線左回り「名古屋大学」駅下車 所要時間：約60分

- 大学構内における教育・研究環境の安全と静謐を保持するため、また、市街地に位置するため駐車スペースに限りがあることから、原則公共交通機関での来校をお願いしております。
- 来学時の路上駐車、コンビニ等への駐車に対する苦情が寄せられております。近隣の迷惑となる駐車はご遠慮ください。